



2024-2025 年度 RI テーマ : THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック

ガバナー方針 : 「 魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー 」

クラブ方針 : 「 変わりゆく我がクラブ、今までとこれからを見つめて 」

名古屋空港ロータリークラブ

事務局/ 名古屋市中村区名駅 3-11-13
レジデンス鈴木 1101
【TEL】 052-446-6811 【FAX】 052-446-6812
E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp
会長/ 近藤 和彦
幹事/ 真城 壮司
公共イメージ向上委員長/ 前田 幹太
例会日/ 毎週月曜日 12:30~13:30
例会場/ 名古屋マリオットアソシアホテル



2193 回例会

2025年2月23日(日) 第 23 回

- 例会行事 東尾張分区 IM
ホスト 愛知長久手ロータリークラブ
於: 名古屋東急ホテル

《当日のスケジュール》

- 13:00 受付・登録開始
- 13:30 点鐘 ~ 14:10 式典
- 14:10~15:20 記念講演
講演者: トヨタ博物館 館長 布垣 直昭 氏
- 15:30~16:00 アトラクション
- 16:10~17:30 懇親会
- 17:30 点鐘/閉会

挨拶

愛知長久手ロータリークラブ IM 実行委員
伊藤 広治 君



開会のことば

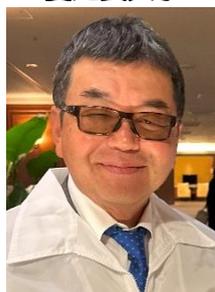
皆様こんにちは、愛知長久手ロータリークラブ IM 実行委員長 伊藤広治でございます。
当クラブは 14 名の少数クラブであります。全力でホストの役を担わせていただきます。しかしながら準備運営等至らぬことも多々あるかと思われ、ロータリーの友情を持ってご容赦いただきたいと思います。
本日は吉川公章ガバナーはじめ地区関係者の皆様、パストガバナー、パストガバナー補佐、そして東尾張分区会員の皆様にご登録ご参加いただきまして誠にありがとうございます。

また大変お寒い中この場に足をお運びいただき皆様のお顔を拝見することが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

さて 2024-25 年度東尾張分区 IM のテーマは「地域創生」~クラブの役割とその繋がりで開く未来社会~です。大袈裟なタイトルですが地域を創るのは日々の小さな積み重ねであると思います。ロータリーのマジックも大魔法でもなく当たり前のことが当たり前にできる社会を創ることが発端でした。先ずは私たちが出来ることをする。今出来ていることを継続することが大切ではないでしょうか。私がこのロータリーに参加するようになり感銘を受けた言葉に、天台宗開祖の最澄の「一隅を照らす、此れ則ち国宝なり」があります。国の宝は文化財、金銀財宝ではなく、皆が気付かない片隅で社会を照らしているような人が宝であると伝えていきます。私たちは世界を動かせるような大きな組織に属するが、しっかりと足元の地域とつながり自分たちが照らすべき対象地域の課題を見つけ継続的に支援と奉仕を行うクラブでありたいと願います。「一燈照隅、万燈照国」私たちにしか見えない課題や影を同じ光を持った私たちが繋がれば国や世界を隅々まで照らすことが出来る。それがロータリーだと感じます。本日の基調講演では長久手市にごさいますトヨタ博物館シニアキュレーター 布垣様より地域貢献についての講話を頂きます。一企業が地域を照らすあかりから一クラブが照らすあかりを見直し自分たちが進む道を照らすあかりを感じ取っていただくことを今回のインターシティーミーティングの趣旨といたします。それでは 2024-25 年度国際ロータリー第 2760 地区東尾張分区インターシティーミーティングを開会いたします。

歓迎のことば

愛知長久手ロータリークラブ 会長 小谷 恒夫 君



こんにちは 愛知長久手 RC 会長の小谷恒夫です
2024-25 年度 IM のホストクラブとして愛知長久手 RC が務めさせていただきます
本日は 吉川公章ガバナーはじめ地区幹事、地区スタッフ、2 名のパストガバナー、17 名のパストガバナー補

佐：次期ガバナー補佐の皆様 ようこそおいでくださいました。

そして東尾張分区 12RC 全員登録と多数の参加を頂き誠にありがとうございます。

本日の IM テーマは「地域創生」～クラブの役割とその繋がりで開く未来社会～です

基調講演は、トヨタ博物館シニアキュレーター 布垣直昭様による「トヨタ博物館と地域貢献」というテーマで講演して頂きます。

何と愛知長久手 RC の例会場は長久手市にあるトヨタ博物館でもあるのです。楽しみにして下さい。

本日ご出席頂きました皆様に感謝申し上げ 私の歓迎の挨拶とします。

ガバナー補佐挨拶

東尾張分区ガバナー補佐 日野 典子 君



皆さんこんにちは。

2月の寒い中、東尾張分区の IM にお越しいただき感謝申し上げます。

昨年のちょうど今頃私はこの舞台上で初めて東尾張分区 12 ロータリーの皆様にご挨拶させて頂きました。

確かティアラを付けてここに登壇してご挨拶したのを覚えています。あれから 1 年経ちました。ガバナー補佐も 8 ヶ月経ち残り 4 ヶ月になりました。

ここまで来れたのはひとえに、ここに見えるロータリーの皆様の友愛の精神のおかげだと思います。本当にありがとうございます。謹んでお礼申し上げます。

2024-25 年の東尾張分区の IM のテーマは『地域創生』です。ロータリーのマジックが RI のテーマですがロータリーの理念、方針、行動を考えるとその全てが社会における地域創生からのマジックであると私は感じています。

しかしながら現在のロータリークラブは今までの歴史に基づき過去からの継続に縛られてきた様な気がします。今こそ変化しないといけない時に来ているのではないのでしょうか。

私達個人がロータリアンとして各クラブが地域貢献と活動を継続する事によって私達の周りや地域は新たな社会に変化して行く未来が見えるのにロータリークラブはまだ変化し切れない所に居ます。

時代はアメリカのエミー賞で日本人のドラマ SHOGUN が主演男優賞、主演女優賞など 18 部門で賞を取りました。音楽の祭典グラミー賞ではビヨンセが 4 度のノミネートを経て初めて最優秀アルバム賞を取りました。黒人歌手でなかなか取れないと言われて来て、何度も挑戦して今年賞を掴みました。

時代は本当に変わって来ていると確信しました。

私達は世界をも動かせる様な組織に属しています。今こそ足元の地域と繋がり自分たちが照らすべき対象地域の課題を見つけ新しい支援と奉仕を継続していかなくては行けな

いのではないのでしょうか。

次の支援と奉仕はどんなものになって行くのでしょうか。その未来を考えて進むクラブが地域創生を作るのだと思います。そしてその向こうにマジックが始まります。

地域創生もマジックも一瞬にして社会を変えてしまうような大事業ではなく、ゆっくりであっても継続的にしっかりと前進して成長していく事が大切なのではないでしょうか。

この東尾張分区のロータリーの皆さんが固く繋がり光を放てば次の未来を作るロータリーのマジックができ上がります。

皆さんで大きなロータリーのマジックを作って行きたいです。

ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2760 地区ガバナー 吉川 公章 君



東尾張分区インターシティーミーティング開催に寄せて

東尾張分区インターシティーミーティングの開催、誠にありがとうございます。また、本日はこのような素晴らしい場にお招きいただき、心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐・日野典子様のご指導のもと、ホストクラブである愛知長久手ロータリークラブの小谷恒夫会長、伊藤広治 IM 実行委員長をはじめ、多くの皆様のご尽力により、本会が開催されますことに深く敬意を表します。

本年度の国際ロータリーのテーマ「ロータリーのマジック」のもと、私たちのクラブ活動が地域社会に与える影響や、今後どのように価値を創出していくべきかを改めて考える場として、本日のインターシティーミーティング

(IM) は大変意義深いものと確信しております。

東尾張分区には 12 のクラブがあり、日本有数の陶磁器産業をはじめ、電子部品や食品加工など、多彩な産業が発展しています。また、自然と調和した住環境に恵まれ、「日本一住みやすい街づくり」としても知られています。教育水準も高く、伝統と革新が融合するこの地域において、それぞれのクラブが築いてきた成果や課題を共有すること

で、私たち全体の知識や経験がより深まり、それがやがて「ロータリーのマジック」となり、地域社会に大きなインパクトをもたらすことでしょう。

本日は、歴史ある名車を展示しているトヨタ博物館館長のシニア・キュレーター布垣直昭氏によるご講演が予定されており、貴重なお話を伺えることを私自身も大変楽しみにしております。

さて、ロータリーの最大の財産とは何でしょうか。それは、歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的ネットワークでもありません。それは「会員」です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームであり、私たちの活動の原動力です。

青少年交換プログラムに関わる会員の方から、印象的なお話を伺いました。

「派遣する高校生には、1年間のオリエンテーションを経て送り出します。派遣先の地区と協議を重ね、手続きを整え、ようやく留学が実現します。人前で話すのもぎこちなかった学生が、1年間の留学を終えて帰国し、生き生きとした表情で留学の報告をする。その成長した姿を見た瞬間、私はロータリーの一員として何をなすべきかが明確になりました。ロータリーは人と人をつなぎ、共に成長する場なのだ、心から実感しました。」と。ロータリーの真の価値は、会員一人ひとりが地域社会にどのように貢献し、その経験を通じて自身もいかに成長していくかにあります。

現在、2760地区の会員数は4,590名となり、7月1日と比較して138名増加しました。また、ローターアクトクラブの会員数は154名で、RI会員数の合計は4,744名となります。しかし、近年最も会員数の多かった当地区も、現在は2750地区にその座を譲っています。2750地区のロータリークラブ会員数は4,594名、ローターアクトクラブ会員数は291名で、合計4,885名。特にローターアクトクラブの活動が活発であることがわかります。

会員増強は、インパクトのあるロータリー活動を実現するために不可欠であり、最優先事項です。伝統的なロータリークラブの枠にとらわれず、奉仕の精神にあふれ、地域で評価されている方々を新たに迎え入れることが重要です。例えば、あるクラブでは、地域の若手経営者を積極的に迎え入れました。新しい視点を取り入れることで、クラブの活動がよりダイナミックになり、地域社会とのつながりが深まるだけでなく、国際的な奉仕活動も活発化しています。こうした取り組みこそが、ロータリーの未来を築く鍵となるのではないのでしょうか。

今後、行動計画に基づく3年間の目標設定においても、新たな適応が求められます。しかし、私たちはこれまで困難の中で協力の道を見出してきました。ロータリーは「革新」「継続性」「パートナーシップ」とともにあります。

本日の議論や交流が、皆様の活動に新たな視点やエネルギーをもたらし、ロータリーの新たな価値に気づく契機となることを確信しております。

最後に、本IMの成功に向けてご尽力いただいたすべての皆様に改めて深く感謝申し上げますとともに、参加者一人ひとりにとって実り多い時間となるよう、心よりお祈り申し上げます。

次期ガバナー補佐挨拶と ホストクラブ会長挨拶

2025-26年度 東尾張分区ガバナー補佐
瀬戸ロータリークラブ 青山 稔 君

2025-26年度東尾張分区ガバナー補佐を務めさせていただきます瀬戸ロータリークラブ 青山稔です。

日野ガバナー補佐のご指導の下、伊藤広治実行委員長はじめ愛知長久手ロータリークラブの皆様の熱意と総力をもって、本日のRI2760地区、東尾張分区インターシティミーティングが盛大に開催されましたことを心よりお慶び

申し上げます。

さて、次年度RI会長はマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏です。デ・カマルゴ次年度会長は、新たな視点を模索し、世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性、その上で成長の為には不可欠な三つの柱として、改革・継続性・リーダーシップを挙げられており、「よいことのために手を取りあおう」と呼び掛けておられます。

RI方針のもと、鈴木ガバナーエレクトの方針に則って一年を皆様と共に前に進んでいければと考えています。

その上で大切なことは「楽しむ」ことです。

「エンジョイ・ロータリー」楽しく前を向いて進んでいきたいと思ひます。次年度、宜しくお願ひいたします。

次年度ホストクラブ会長挨拶 瀬戸ロータリークラブ 加藤 一夫 君

皆さんこんにちは、本日は日野ガバナー補佐をはじめ小谷恒夫会長、伊藤広治実行委員長と共に長久手クラブの皆様がかくも盛大にインターシティミーティングを開催され、東尾張分区12RCの皆様方とお会いできることに感謝申し上げます。

2025-26年度IMを瀬戸ロータリークラブがホストをさせていただきますので宜しくお願ひ致します。瀬戸ロータリークラブ今年度会長の加藤一夫と申します。また、次年度IMの実行委員長を務めさせていただきます。

瀬戸ロータリークラブも次年度に向け今年度のIMをしっかりと学び、次年度に繋げようと思っております。最近の世相と同じようにロータリークラブも目まぐるしく変化していく昨今ですが、ロータリーの基本をしっかりと勉強する事により先を見失わないようにしていかなければならないと思ひます。このIMでロータリーの原点を考え、IMの意義を深く考え、各クラブの再確認の場になればと思っております。

次年度のIMの開催日と会場は、令和8年3月15日

(日)、この会場と同じ名古屋東急ホテルでございます。内容につきましては、現在準備中でありますので、詳細が決定次第、改めてご案内致しますので、宜しくお願ひ致します。東尾張分区の皆様一人でも多くのご登録を宜しくお願ひ致します。

今日のこれからのプログラム、愛知長久手ロータリークラブらしい素晴らしい時間を過ごさせていただける事を楽しみにしております。ありがとうございます。

閉会のことば

愛知長久手ロータリークラブ IM 実行委員 伊藤 広治 君

式典の閉会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。本日お集りの皆様、そして各クラブの事務局の皆様、東急ホテルスタッフの皆様のお力をお借りいたしまして2024-25年度国際ロータリー第2760地区東尾張分区インターシティミーティング式典を滞りなく終了することが出来ました。誠にありがとうございました。

次年度のホストクラブ瀬戸ロータリークラブ様にバトンをしっかりとお渡しさせていただきます。

引き続きまして基調講演懇親会へと移らせて頂きます。

基調講演では「トヨタ博物館と地域貢献」について、布垣直昭様よりお話を伺います。企業、組織から見る地域貢献の一例と考え方から我々の歩んできた過去を振り返りこれからのマジックに役立てて頂きたいと思ひます。また本日皆様にお配りいたしました三つ折りの案内に実はわたくしも映っております。パンフレットのこちらで火縄銃を放っています、私も長久手市が大好きな市民の一人なのです。我々のバナー、この上着の背に描かれるこの長久手市の無形民俗文化財「警固祭り」よりホテル内で火縄銃は撃てませんので棒の手を懇親会のオープニングで披露させていただきますのでお楽しみください。

それではこれを持ちまして2024-25年度国際ロータリー第2760地区東尾張分区インターシティーミーティング式典を閉会いたします。ありがとうございました。

～講演会～

講師 トヨタ博物館シニアキュレーター 布垣 直昭 氏
演題 『トヨタ博物館と地域貢献』



～乾杯挨拶～

国際ロータリー第2760地区幹事 片桐 満 君



ご紹介いただきました、本年度地区幹事の片桐でございます。名古屋南ロータリークラブ所属でございます。IMとは分区内の情報交換並びに親睦、交流の場でございます。ここから分区内の親睦をはかっていただければと思ひます。それでは分区内のクラブのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして「乾杯」したいと思います。みなさまご唱和願ひます、「乾杯」。

本日の例会

会員数	43		出席率	68.75	%
出席者	出席義務者	18	欠席者	出席義務者	11
	出席免除者	4		出席免除者	11
	出席合計	22		欠席合計	22

● ニコボックス報告

伊藤 康司 君	伊東 由之 君	稲吉 将秀 君
今村佳保里 君	入谷 宏典 君	大河 裕之 君
片山映理子 君	カーチスメイヤーズ 君	川口 直也 君
暮沼勇二郎 君	近藤 和彦 君	菅沼 智大 君
高山 光雄 君	武田 英昭 君	田邊 雅彦 君
戸谷 仁美 君	中島 俊朗 君	真城 壮司 君
松井 ゆか 君	三好 潤 君	山内 佳紀 君
山北 秀和 君		

今日も元気で!

本日の協力	22 名	22,000 円
本年度の協力累計		969,000 円

ご協力ありがとうございました。



伊東測量登記事務所

土地家屋調査士

伊 東 由 之

確定測量・分筆・合筆・表示登記 etc